

事業所名 放課後等デイサービス がじゅまる

支援プログラム

作成日 令和7年 3月 22日

法人(事業所)理念		すべての家庭に安心と居場所を														
支援方針		医療的なケアの必要な子に安心できる居場所を作ります。 リハビリやお出かけ、新しい体験を通して子どもたちと一瞬一瞬の喜びを共有し、明るく笑顔あふれる毎日を。ムーブメント療育を取り入れ、身体を動かし五感で色々な情報をキャッチすることで、「できる」を増やしていきます。親御様と日常で困っていることを共有し、日々の活動に活かします。														
営業時間		9	時	00	分	から	19	時	00	分	まで	送迎実施の有無	あり	なし		
支 援 内 容																
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ○健康状態の改善:車内での検温、バイタルチェック、全身状態や呼吸状態の観察を行います。 ○障がいの特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすいよう構造化します。 ○医療的ケアが必要なお子様には、主治医指示書を基に医療行為を実施します。 														
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ○日常生活に必要な、姿勢と運動・動作の基本的技能の向上を目指します。 ○五感を使った活動粘土・リトミック・クッキング・工作などを取り入れ、心と身体の成長を促します。 														
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ○当日の日付・曜日・天気・利用者・活動予定など、見通しを持って視覚でわかるよう掲示します。 ○個々の感覚特性に配慮した環境を整え、苦手な課題にも取り組めるようチャレンジ精神を養います。 ○「見通しを持つ」ことに加え、「自分で選択する機会を増やし、自己決定の機会を支援内容に盛り込む。 														
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ○集団遊びの中で自分の考えを相手に伝えたり、人との距離感を学べるように支援します。 ○個々の特性に応じて言葉・絵カード・身振りなどでコミュニケーション手段を活用します。 ○口の動きや表情をよく観察し、児童の思いを汲み取り、児童に選択する場面も作りながら意思表示を引き出していきます。 														
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ○個々での活動や集団遊びの活動を通し、自己理解・他者理解を養ったり、触れ合いや顔を合わせる時間を作る中で信頼関係を築いていきます。 ○園外活動を通して、様々な人と触れ合う機会を設けていきます。 ○集団活動の中で、役割分担をしたり、ルールを守ることの大切さを知らせ、社会性や安定した人間関係の形成を支援します。 														
家族支援		○送迎時や連絡帳を通じて保護者の不安や心配事に耳を傾け、いつでも相談できる環境を整え、支えになるよう努めていきます。						移行支援			○高校卒業後の進路について、各関係機関と情報共有学校・放課後等デイサービス・相談支援所・施設訪問などを行っていきます					
地域支援・地域連携		○「相談しやすい環境」をさらに一歩進め、「家庭での小さな『できた!』」を共有し、事業所と家庭で一貫した支援を行う」双方向の連携。						職員の質の向上			○全体会議で職員同士の意見交換や情報共有をし、研修の報告など自分自身のスキルアップを目指します。					
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ○季節のイベント(こどもの日・七夕・クリスマス・豆まき・ひなまつり等) ○プール遊び、お誕生会、園外活動、避難訓練、他事業所との合同イベント 														